

釧路南ロータリークラブ会報

第9回 例会報告 2020.9.11 通算1817回

・点 鐘 奈良会長

・ロータリーソング

「我等の生業」



ソングリーダー 佐藤 潤会員

・入会記念祝

亀井 麻也会員 H24. 9. 14 (8年目)
石井 昌宏会員 H28. 9. 16 (4年目)

・誕生祝

石井 昌宏会員 S54. 9. 6 (41歳)

・会長挨拶



みなさん こんにちは。本年度9回目の会長挨拶をさせていただきます。本日の例会は『基本的教育と識字率向上月間』と言うことで早津委員長後ほど宜しくお願い致します。

先週末は所属している他団体主催の「末広ヒアガーデン」のお手伝いに行ってきました。ヒアガーデンと言っても例年とは違い来場者に検温とマスクの配布をし、協力いただいた方にビール等をサービスする形で行われました。個人的にはそんなに人も出てこないと思っていたのですが、2日目は天候にも恵まれ久しぶりに末広で多くの人を見ることが出来ました。微力ではありますが、末広繁華街の活性化に協力出来たのではないかと考えております。当クラブでも感染対策をしっかりと行いながら地域に貢献できる活動をしていきたいと改めて思いました。

以上会長挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

・幹事報告



* 2020年9月のロータリーレートは、1ドル=106円となっております。

* ロータリーの友9月号とガバナー月信9月号は、レターケースに入れてありますのでお帰りの際

は、お持ち帰りください。

- * 厚岸ロータリークラブより 8 月会報と 9 月の例会プログラムが届いております。先週は移動例会で回せなかった資料も一緒に回覧してありますのでご一読を宜しく願います。

本日例会終了後に理事会後に理事会がございまして、理事者の皆様は宜しく願います。

・本日のプログラム

「基本的教育と識字率向上月間」 + WEB

担当 環境青少年委員会



早津環境青少年委員長より講話



Zoom による例会実施

❖ 基本的教育と識字率向上とは??

日本にいれば字の読み書き、文章の理解ができる人がほとんどですが、これは義務教育により学習することができるからです。

日本では初等教育の「純就学率」は男女ともに 100%、そのため識字率についても世界でも上位の水準ですが、世界では識字率が 80%に満たない国や地域も多くあります。

現時点で文字の読み書きができない人は約 7 億 5000 万人（世界の 15 歳以上の 6 人に 1 人）いることがわかっています。この問題に対して世界では大きな課題として認識されており、解決すべき問題として取り上げられています。持続可能な開発目標として定められた SDGs(エスディージーズ)でもこの教育分野について取り上げており、目標に掲げられています。

(SDGs とはエスディージーズ

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です)ここでは「すべての人々に包摂的(ほうせつてき)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことをゴールとし、「質の高い教育をみんなに」には、「2030 年迄には、すべての青年と大多数の成人が男女含めて、識字と簡単な計算が出来るようにする」という目標が定められています。識字率の低さはその国や地域の教育水準に大きく関わっているために、識字や計算能力を高めることが求められているのです。世界には子供たちが基本的な教育を受ける事が出来ず、成人が十分に読み書き出来ない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し識字率をあげればその他の諸問題の解決(貧困の削減健康状態の改善、地域社会の発展、平和構築など)の糸口をつかむ事が出来ます。(出典：日本ユネスコ協会連盟公式サイト)

○基本的教育と識字率向上はロータリーの 6 つの重点分野の 1 つとなっています。基本的教育・識字が重視される理由として

1. すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は 66%減少する。
2. 読み書きの出来る母親を持つ子供は、読み書きの出来ない母親の子供と比べて 5 歳以上まで生き延びる確率が 50%高い。

3. 低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1億 7100 万人が貧困から抜け出すことが出来る。これは全世界の貧困の 12%に相当する。
4. 世界では 5800 万人の子どもが学校に通えていない。
5. 4 年間の初等教育を受けた後も読み書きの出来ない子供が 2 億 5000 万人いる
6. 7 億 8100 万人の成人が読み書きできない。

(出典:RI 公式サイト)

✿ 識字率が高い／低い国や地域

識字率の高い地域と低い地域は先進国か開発国で大きく分かれる傾向にあります北アメリカやヨーロッパ、東アジアの地域では識字率が高い国が多く、対してアフリカ地域では識字率がまばらであり、最も識字率の低い国はマリという国となり、識字率が最も高いキューバが 99.9%に対してマリは 26.2%となっております。識字率の低さには歴史的、地理的問題があります。後発途上国の多くは第二次世界大戦後独立した国が多く、その後も紛争や差別によって経済的にも困窮している国が多いのが特徴です。そのため教育に力を入れることができず、学校に通えない子どもが多く存在します。また女子よりも男子の教育に力を入れる傾向があるのも問題です。他にも地域的に独自の言語しか取り扱っていない人々もおり、その言葉を用いて子どもへ教育を行う教師が不足するなど様々な要因で教育を受ける機会が奪われているのです。文字が読めない・教育を受けていないことは危険な目にあう可能性も途上国の国々を中心に、文字の読み書きや計算など最低限の教育が受けられない子どもが多くいます。文字が読めない、教育を受けられないことにより起こりうる問題の中には危険な目にあう可能性を持っているものもあります。

1. 計算ができない

計算ができないということは少なくとも 2 つの不利益を被ります。1 つは就職をする上で計算ができないことが不利に働くことがあるということです。仕事に必要な技術の習得や情報の取

得に計算が欠かせないことがあります。

2. 仕事を選ぶことができない

必要な知識や技術を持ってないどころか、識字さえままならないことで仕事に必要な能力を身につけることができず、仕事を選ぶことができない状況に陥ることも多々あります。これにより収入が安定した仕事を希望しても就職できず、子どもたちの世代まで貧困が続いてしまうという負のスパイラルに陥ることも少なくありません。

3. 社会から取り残される

字の読み書きができず、情報や知識を得られないということから社会に取り残されることも少なくありません。例えば必要な資料が読めない、選挙に投票にいけない、自分の意見を相手に伝えられないといった問題が起こりえるのです。こうなると公共サービスを受けることもままならなくなってしまい孤立する可能性もあります。

4. 危険が認知できない

私たちが身の回りの危険を認識するために文字などによる情報が大きいとされています。文字が読めれば警告など予め危険を知り、避けることが可能だからです。裏を返せば、文字が読めなければ危険であることがわからず、命を危険にさらしてしまう可能性が上がるのです。例えば薬品の取り扱いや摂取については一歩間違えれば命に関わることもあります。文字が読めないことで誤った飲み方をしてしまい命を落とすこともありえるのです。あるいは紛争が起こるアフリカでは地雷原が残る場所もあります。警告の看板などが置かれている場所もありますが、それすら理解できず足を踏み入れ地雷の脅威に晒されることも少なくないのです。

(出典:ユニセフ「世界子供白書 2017」)

✿ 識字率・教育の重要性を知り世界の現状を理解しよう!

世界では学校に行けない人、文字が書けない人が今もたくさん存在しますこれは子どもたちを取り巻く環境などが大きく影響しているのですが、就学で

きない、できても途中でやめざるを得なくなる状況を改善することから始める必要があります。識字率が低い国や貧困が深刻な国では、親が教育の大切さをわかっていないために子どもに労働や家事をさせ、学校へ通わせないケースも多くあります。そうした国では学校で給食を配布したり水汲みの必要がなくなるよう水道を設置するなど子どもが学校へ来る理由を作り改善に向けた支援活動を行っています。すべての子どもたちに教育を受ける機会を平等に与え、文字の読み書きができることを増やすことが、環境に変化をもたらし、将来の貧困からの脱出を促して、国や世界経済そのものの発展にもつながります。これからの将来を担うすべての子どもたちが教育を受けられるよう、私たちロータリーアンにもできることを考えてみてはいかがでしょうか。

✿ ロータリーでのグローバル補助金活用事例

- ① Tagum North ロータリークラブ (フィリピン) 政府、自治体、海外のロータリークラブと協力し、台風被害を受けた市民センターの教室を再建しました。
- ② 東京付中ロータリークラブ 子どもたちの文章力と思考力を向上するために、1974年から毎年、市と協力して作文コンクールを開催しています。
- ③ Grigota ロータリークラブ (ボリビア) 基本的教育の重要性、とくに就労前の女子教育の重要性に対する認識を高めるために、地域社会の家族を対象とした啓蒙活動を行いました。
- ④ Baker College Muskegon ローターアクトクラブ(米国) 識字プロジェクトの資金を集めるために、クラブメンバーが言葉力を競う大会に出場し、サポーターからの寄付を募りました。このプロジェクトでは、成人を対象とした識字力向上プログラムを実施します。
- ⑤ Solo Kartini ロータリークラブ (インドネシア)

教育省と周辺ロータリークラブ／ローターアクトクラブからの協力を得て、地元高校生が数百名参加した識字デーのイベントを実施しました。

- ⑥ Izmir-Alsancak (トルコ) のロータリーファミリー、インターアクト、ロータアクト、ロータリークラブが合同で地元自治体と協力し低所得地域での移動式図書館プログラムを実施しました。(出典:RI 公式サイト)

ご清聴ありがとうございます

持続可能な開発のための2030アジェンダ

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標(その下に、169のターゲット、232の指標が決まられている)。特徴は、以下の5つ。

- 普遍性** 先進国を含め、全ての国が行動
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」
- 参画型** 全てのステークホルダーが役割を
- 統合性** 社会・経済・環境に統合的に取り組む
- 透明性** 定期的にフォローアップ

前身:ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したものである。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。
 - ①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧違帯
- MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
 - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④、⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。

環境 (リオ+20)
人権
平和

【参考】持続可能な開発目標(SDGs)の概要

①(貧困) ②(飢餓) ③(保健) ④(教育) ⑤(ジェンダー) ⑥(水・衛生)
⑦(エネルギー) ⑧(成長・雇用) ⑨(インフラ) ⑩(不平等) ⑪(都市) ⑫(生産・消費)
⑬(気候変動) ⑭(海洋資源) ⑮(陸上資源) ⑯(平和) ⑰(実施手段)

ロゴ: 国連広報センター作成

【参考】持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

目標1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4 (教育)	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う。
目標6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8 (経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9 (インフラ、産業化、イノベーション)	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10 (不平等)	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対応ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

文字が読めない状況を疑似体験

「水と薬、ときどき毒」

文字が読めないとどう困るのか？ 文字が読めない非識字体験をしてみましょう。

突然ですが、クイズです。

下の3つのグラスの中から“薬”を選んでください。



【状況解説】

「あなたの子が高熱を出して苦しんでいます。でも近くに病院はなく、医者のある町へ出るには山道を1日歩いた上にバスに7時間も乗らなければなりません。いつもは先生が薬を出してくれますが、先生は町に出かけて留守です。いつも先生が“薬”を取り出している棚には、薬はもちろん、水やネズミ除け用の農薬(=“毒”)がしまっておりあります。」

さあ、3つの中から“薬”を選びだすことはできますか？文字を読むことができないと、“薬”を選ぶことはとても難しいと思います。

ちなみに正解は、一番右側が薬です。

カンボジア語(クメール語)で左から「水」、「毒」、「薬」と書かれています。

#	順位	国名	識字率 ^[b]
1	1	 キューバ	99.9
2	2	 エストニア	99.8
3	2	 ラトビア	99.8
4	4	 バルバドス	99.7 ^[1]
5	4	 ベラルーシ	99.7
6	4	 ジョージア	99.7
7	4	 リトアニア	99.7
8	4	 スロベニア	99.7 ^[1]
9	4	 ウクライナ	99.7
10	4	 アルメニア	99.7
11	11	 カザフスタン	99.6
12	11	 タジキスタン	99.6
13	13	 アゼルバイジャン	99.5

#	順位	国名	識字率 ^[b]
14	13	 トルクメニスタン	99.5
15	13	 ロシア	99.5
16	16	 ハンガリー	99.4 ^[i]
17	17	 キルギス	99.3
18	17	 ポーランド	99.3 ^[i]
19	19	 トンガ	99.2
20	20	 アルバニア	99.1
21	21	 アンティグア・バーブーダ	99.0 ^[q]
22	21	 オーストラリア	99 ^[d]
23	23	 オーストリア	99 ^[d]
24	23	 ベルギー	99 ^[d]
25	23	 カナダ	99 ^[d]

#	順位	国名	識字率 ^[b]
26	23	 チェコ	99 ^[d]
27	23	 ボスニア・ヘルツェゴビナ	99 ^[d]
28	23	 デンマーク	99 ^[d]
29	23	 フィンランド	99 ^[d]
30	23	 フランス	99 ^[d]
31	23	 ドイツ	99 ^[d]
32	23	 ガイアナ	99 ^[i]
33	23	 アイスランド	99 ^[d]
34	23	 アイルランド	99 ^[d]
35	23	 日本	99 ^[d]
36	23	 朝鮮民主主義人民共和国	99 ^[1]
37	23	 韓国	99 ^[d]

#	順位	国名	識字率 ^[b]
38	23	 ルクセンブルク	99 ^[d]
39	23	 オランダ	99 ^[d]
40	23	 ニュージーランド	99 ^[d]
41	23	 ノルウェー	99 ^[d]
42	23	 スロバキア	99 ^[d]
43	23	 スウェーデン	99 ^[d]
44	23	 スイス	99 ^[d]
45	23	 イギリス	99 ^[d]
46	23	 アメリカと  プエルトリコ 参照: en:Literacy in the United States	US-99, PR-94.1 ^{[2][3]} ^[4]
47	47	 イタリア	98.9
48	48	 サモア	98.8 ^[1]
49	48	 クロアチア	98.8

#	順位	国名	識字率 ^[b]
50	48	 トリニダード・トバゴ	98.8 ^[1]
51	48	 ウルグアイ	98.8
52	48	 ブルガリア	98.8
53	53	 スペイン	97.7
54	53	 キプロス	97.7
55	53	 リビア	97.7
56	53	 セルビア	97.7
57	53	 セントクリストファー・ネイビス	97.7
58	53	 ルーマニア	97.7
59	53	 アルゼンチン	97.7
60	60	 モンゴル	97.5
61	61	 ギリシャ	97.2

#	順位	国名	識字率 ^[b]
62	62	 イスラエル	97.1 ^[k]
63	62	 北マケドニア	97.1
64	64	 モルディブ	97.0
65	65	 ウズベキスタン	96.9 ^[j]
66	66	 チリ	96.5
67	67	 コスタリカ	96.1
68	68	 グレナダ	96.0 ^[q]
69	69	 中国	95.9 ^[k]
70	70	 バハマ	95.8 ^[j]
71	71	 フィリピン	95.7
72	72	 ベネズエラ	95.2
73	73	 ポルトガル	94.9 ^[j]
74	74	 セントルシア	94.8 ^[q]

#	順位	国名	識字率 ^[b]
75	75	 カタール	94.7
76	75	 シンガポール	94.7
77	77	 香港	94.6 ^[j]
78	77	 パレスチナ自治政府	94.6 ^[p]
79	77	 パラグアイ	94.6 ^[j]
80	80	 クウェート	94.5
81	81	 フィジー	94.4 ^[j]
82	82	 スリランカ	94.2 ^[w]
83	83	 タイ	94.1
84	83	 トルコ	94.1 ^[5]
85	85	 パナマ	93.6
86	86	 ブルネイ	93.4
87	86	 メキシコ	93.4

#	順位	国名	識字率 ^[b]
88	88	 スリナム	93.3
89	89	 コロンビア	93.2
90	90	 ベトナム	92.8
91	91	 マレーシア	92.5
92	92	 マルタ	92.4
93	93	 インドネシア	92.0
94	93	 ミャンマー	92.0
95	95	 ジンバブエ	91.9 ^[i]
96	96	 セーシェル	91.8
97	97	 バーレーン	91.4
98	98	 ヨルダン	91.1
99	99	 エクアドル	91.0
100	99	 イラン	91.0 ^[6]

#	順位	国名	識字率 ^[b]
101	101	 ボリビア	90.7
102	102	 赤道ギニア	90.4
103	103	 レバノン	90.0 ^[7]
104	103	 アラブ首長国連邦	90.0 ^[i]
105	103	 ブラジル	90.0
106	106	 レソト	89.7
107	107	 ペルー	89.6
108	108	 ドミニカ共和国	89.1
109	109	 チュニジア	88.9
110	110	 サントメ・プリンシペ	88.8
111	111	 ナミビア	88.5
112	112	 セントビンセント・グレナディーン	88.1 ^[q]

#	順位	国名	識字率 ^[b]
113	113	 ドミニカ国	88.0 ^[q]
114	113	 南アフリカ	88.0
115	115	 シリア	87.9
116	116	 ガボン	87.7
117	117	 モーリシャス	87.0
118	118	 スワジランド	86.9
119	119	 ジャマイカ	86.4
120	120	 サウジアラビア	86.1
121	121	 カーボベルデ	84.8 ^[j]
122	122	 ケニア	84.2
123	123	 エクアドル	84.2
124	124	 エルサルバドル	84.1
125	125	 ホンジュラス	83.6

#	順位	国名	識字率 ^[b]
126	126	 オマーン	89.4
127	127	 コンゴ共和国	81.1 ^[j]
128	128	 バヌアツ	80.2
129	129	 イラク	78.1
130	130	 ニカラグア	78.0
131	131	 ボツワナ	77.7
132	132	 ソロモン諸島	76.6 ^[k]
133	133	 カンボジア	76.3
134	134	 アルジェリア	75.4
135	135	 ベリーズ	75.1 ^[q]
136	136	 グアテマラ	74.5
137	137	 インド	75.6 ^[8]
138	138	 コモロ	74.2

#	順位	国名	識字率 ^[b]
139	139	 マラウイ	73.7
140	140	 ウガンダ	73.3
141	141	 タンザニア	72.9
142	142	 ガーナ	72.0* ^[i]
143	143	 ザンビア	70.9
144	144	 マダガスカル	70.7
145	144	 ルワンダ	70.7
146	146	 ジブチ	70.3 ^[i]
147	147	 スーダン	70.2 ^[aa]
148	148	 アンゴラ	70.0
149	149	 ラオス	68.7
150	150	 ネパール	68.2
151	151	 カメルーン	67.9

#	順位	国名	識字率 ^[b]
152	152	 コンゴ民主共和国	66.8
153	153	 エリトリア	66.6
154	153	 ナイジェリア	66.6
155	153	 ブルンジ	66.6
156	156	 エジプト	66.4
157	157	 イエメン	62.4 ^[i]
158	158	 ハイチ	62.1 ^[i]
159	159	 モロッコ	61.5 ^{[9][10]}
160	160	 パプアニューギニア	60.1
161	161	 パキスタン	58.2
162	162	 モーリタニア	57.5
163	163	 バングラデシュ	55.9

